

○ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの

区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 再提案 (H30・8・23 第143回総会：東御市)			
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他 ()		分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
	要望先	<input type="checkbox"/> 国 担当省庁 <input checked="" type="checkbox"/> 県 担当部局 農政部 <input type="checkbox"/> その他 名称		
件名	5 世界を見据えたワイン生産振興に対する体制整備の強化について			
提案市	東御市			
提案要旨	<p>名実ともにNAGANO WINEが日本ワインのフラッグシップ・ブランドになるため、優秀なクローン種苗の輸入事業及び先進国の学術研究の知見に基づく検疫など、世界を視野に入れたワインの生産振興を強力に推進する体制整備を要望する。</p>			
提案理由	<p>国では、ワインの地理的表示保護制度の創設及び植物防疫法を改正して、醸造用ぶどう苗木の輸入要件を緩和し、国の植物検疫所以外での輸入検疫を可能にするなど、世界を見据えた制度の創設・改正を図っている。</p> <p>ワインによる地域振興を推進する他道府県では、既に地元の大学や研究機関等と連携し、ワイン先進国で評価の高い優秀なクローン苗木の中から、地元地域のテロワールに適したクローン苗木を選抜・輸入し、ブランド力を向上させ、生産振興を強力に推進する体制整備を進めている。</p> <p>日本を代表するトップブランドとして、NAGANO WINEが卓越した社会的評価を受けられるよう、県の力強い政策的な支援と積極的な関与を要望する。</p>			
現況及び課題等	<p>①国内で入手可能な醸造用ブドウのクローン苗木が種類・供給量とも極めて少ないため、醸造家の能力を十分に発揮できない。</p> <p>②国内で供給されている苗木は、高い確率でウィルス性病害に感染している可能性があり、殺菌剤等では症状が改善しないため、ブドウの収量・品質への致命的な影響が懸念される。</p> <p>③遺伝形質が確かでウィルス性病害に未感染のクローン苗木を輸入し、これを母樹として生産した苗木に改植していく必要がある。</p> <p>④大学等と連携した遺伝子検査体制の整備を急ぎ、先進国等の最先端の知見に基づき、効果的な防除に関する自衛的手段の普及や植物防疫法を補完する県内の検疫体制の充実を図る必要がある。</p>			
法令関係	植物防疫法、種苗法			